

## 普及現地情報

発信年月日：令和元年(2019年)10月30日  
所属名：湖北農産普及課  
番号：G19022  
部門分類：110(麦)  
発信者名：新谷、川村

### 新規大麦生産者に栽培研修会を開催

10月7日、これまで加工用米で対応していた生産調整を大麦に転換することになった農事組合法人に対し、大麦栽培技術の習得を目的とした研修会を、JAと連携し開催しました(組合員11名参加)。

JA北びわこ管内では令和2年産から、小麦を大麦「ファイバースノウ」に全面転換し、約700haで麦茶用の大麦栽培が予定されています。JAとともに、転換される生産者に対して集合研修を行っていますが、研修会に出席できなかった生産者には、個別支援を実施しています。

本研修では、収量・品質向上に向けた栽培のポイントを、①ほ場選定、②土づくり、③排水対策、④適期播種、⑤施肥、⑥病害防除、⑦適期収穫の7つの場面に分け説明しました。また、大麦は湿害に弱いため、ほ場の土壌水分が高い場合、初期生育が抑制され減収のリスクが高まることから、排水対策や播種作業が適期に実施されるよう、作業のスケジュールに対する助言を行いました。さらに、大麦栽培による収支の試算から、水田活用米穀と比較した大麦の優位性を提示しました。組合員からは、具体的な作業方法についての質問がなされるなど、大麦栽培への関心の高さが伺われました。

今後も良品質麦茶用大麦安定生産技術の習得に向け、現地指導等を通じて支援を行います。



排水対策が実施され播種間近のほ場(10月22日撮影)